



人づくり



自ら学び行動する 人づくりの推進

- 環境に関する講演会や体験会、見学会などに積極的に参加し、環境の現状を理解し学びます。
- 本やインターネット、「印西市環境白書」などを通じて環境に関する知識を高めます。

環境配慮行動の推進

- 環境に関して得た情報を家庭や友人と話し合い実践につなげます。
- 日常生活の中で気がついた環境保全の工夫を活かし、みんなで取り組みます。
- 環境保全を図る NPO などの市民活動団体に積極的に参加します。



インフォメーション

印西市役所 各窓口

内容	担当課
自然環境 (里山保全、生物多様性など)	環境保全課
農業、農地、市民農園 など	農政課
有害鳥獣 (イノシシ、ハクビシンなど)	環境保全課
市内の公園、緑地 など	都市整備課
大気、水質、騒音・振動 など	環境保全課
ポイ捨て・不法投棄、 ごみの減量化・リサイクル など	クリーン 推進課
地球温暖化対策 (省エネ、再エネなど)	環境保全課

国や千葉県の環境情報

【環境省】

- <https://www.env.go.jp/>
- 脱炭素ポータル
https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/
- COOL CHOICE
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>

【生物多様性センター】

<https://www.biodic.go.jp/>

【千葉県庁/環境】

<https://www.pref.chiba.lg.jp/cate/km/kankyou/>

印西市 環境行動指針

市民編

市の魚「ナマズ」



市の木「サクラ」



市の花「コスモス」



市の鳥「メジロ」



いんざい君
(印西市マスコットキャラクター)



エコネ
(印西市環境キャラクター)

印西市環境行動指針(市民編)

令和4年6月発行

発行：印西市環境経済部環境保全課

〒270-1396 印西市大森2364-2

TEL 0476-33-4491

H P <https://www.city.inzai.lg.jp/>



※「第3次印西市環境基本計画」に基づき発行しています。

印西市

印西市では、令和4年3月に「第3次印西市環境基本計画」を策定し、将来環境像「みんなで作る 自然と暮らしが調和した快適でやさしいまち いんざい」の実現に向けて、環境施策に取り組んでいます。

将来環境像の実現のためには、環境施策の充実を図ることはもちろんですが、市民の日常生活や事業者の事業活動において、環境に配慮した行動を実践していただくことが重要です。以下の環境行動指針を参考に、市民・事業者・行政の三者協働による将来環境像の実現を目指しましょう。



自然環境



谷津と台地を中心とした里山の保全

- 観察会などを通じて里山の現状や保全について理解し、維持管理活動に参加します。
- 低農薬や有機農業で栽培された農作物や地産地消を積極的に取り入れ、市内の農業を応援します。

生きものの生息・生育空間の保全

- 生きものの生息環境の理解と保全に努め、むやみに生きものを傷つけません。
- 家で飼っている生きものや植物を自然界に放したり、植えたりしません。

暮らしと自然のつながりの確保

- 生垣や植栽などにより、居住地内緑化に努めます。
- まちに調和した景観保全活動に積極的に参加します。
- 地域の祭りや伝統行事に積極的に参加します。



生活環境



良好な生活環境の保全

- 食器を洗う際には、洗う前に油分や汚れを拭き取り、汚水の抑制に努めます。
- 環境にやさしい石鹸や洗剤を使用し、適量を心がけます。
- ピアノ、カラオケの使用やペットの鳴き声などにより近隣に迷惑をかけないようにします。
- 車両制限速度を守り、車両走行に伴う騒音・振動を可能な限り低減します。

有害化学物質対策の推進

- 除草剤をなるべく使用せず、殺虫剤・殺菌剤も必要以上に使用しません。
- 有害化学物質を発生させる恐れのあるものは購入しないように努めます。
- 放射性物質に関する基本的な知識と正しい対処法を身につけ、市の対策や検査結果などの情報を活用します。



循環型社会



不法投棄やポイ捨ての抑制・防止対策の推進

- 「ゴミゼロ運動」、「クリーン印西推進運動」など地域の清掃活動に積極的に参加します。
- ごみやタバコのポイ捨ては絶対にせず、ペットの散歩で生じたフンなどは必ず持ち帰ります。
- ごみの不法投棄を発見した場合、市に通報します。

3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進

- マイバッグやマイボトルなどを持参し、使い捨てプラスチック製品の使用を控えます。
- 不要な商品を購入しないよう努め、商品ができる限り長く使用します。
- 消費期限・賞味期限の短い食材を購入すること、飲食店で食べきれない量を注文した場合は持ち帰ることを身近な習慣とします。
- エコマーク商品、リサイクル商品の購入を積極的に進めます。
- ごみの分け方や出し方を守り、ごみを適正に処理します。



脱炭素社会



温室効果ガスの排出抑制

- 「環境家計簿」などを通じて電気、ガス、水道、ガソリンなどの省エネルギーに努めます。
- 節電対策として、緑のカーテン・よしず・すだれなどを設置します。
- 家庭で使用する電力は、再生可能エネルギー由来の電気を購入します。
- 太陽光発電システムや蓄電システムなどの再生可能エネルギー設備を導入します。
- 次世代自動車の導入や環境にやさしい運転(エコドライブ)の実践に努めます。
- 外出の際には、徒歩や自転車、公共交通機関を利用し、自家用車の利用は控えます。

気候変動への適応

- 県や市の提供する防災情報(ハザードマップや避難経路)を事前に確認します。
- 日頃から、食料・飲料・トイレを流したりするための生活用水などの備えをします。
- こまめな水分補給、日差し対策などにより、熱中症の予防に努めます。

